

始業式校長講話 要旨

○創立60周年です

今から60年前、1964（昭和39）年の4月9日に、東洋大学附属牛久高等学校は第1回の入学生を迎えました。本校の誕生です。そして、60年前の5月22日に開校式を行いました。5月22日は本校の創立記念日ですが、この開校式の日をもって創立記念日にしています。

今年は甲辰（きのえたつ）の年です。甲乙丙丁戊己庚辛壬癸という十干と、子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の十二支を組み合わせて、年や時刻、方角などを表しています。

わかりやすい例が、1924（大正13）年、甲子（きのえね）の年に誕生した野球場です。きのえね、甲子は十干十二支の始まりにもなります。この甲子（かっし・こうし）の年に生まれた球場であるので、甲子園球場になります。その甲子園も今年8月で、百年になります。

十干十二支の組み合わせは、10と12の組み合わせになるので、全部で60通りあります。60回を過ぎると同じ組み合わせになるので、還暦—暦が巡るということになり、人間では60歳が年齢の一つの区切りになります。60年前の甲辰（きのえたつ）の年に創立された、本校もめでたく還暦を迎えました。暦は繰り返しますが、これから新たな歴史を歩むことになります。

○新年度が始まった

春は新年度の始まりです。今年は桜の花が満開の中、始業式、入学式を迎えられます。地球温暖化の影響で年々桜の開花が早まっていたのですが、今年は昔の例年並みの状況になりました。以前は、関東地方では満開の桜、あるいは桜吹雪の中で入学式を迎えるのが通例でした。

我々日本列島に住む人間にとって桜の花は特別な存在で、この花が咲き、満開になると、多くの人は、心は浮き立ち、新たな時間が始まるきっかけにしています。桜には農業をつかさどる「サ」の神様がいて、この「サの神さま」が宿る花、木として、「サ」の神様の座（くらす おわす）木、サ・クラと呼ばれます。

なぜ桜なのかというと、春に咲く木の花といえば、梅と桜が代表でしょう。梅の木は「梅一輪、一輪ほどの温かさ」といわれるほど、ぽつりぽつりと咲いてゆき、寒い中で少しずつ春の訪れを感じさせる花です。それに対して桜は少しずつ暖かくなっても、また寒い日があると花を咲かせません。そして、もう寒くならないと桜の木が判断したときに桜は一斉に花を咲かせます。

2月1日を起点に1日の最高気温の積算・合計が600度を超えると桜は開花すると言われていきます。そして、開花から1週間程度で満開になります。このことから桜が咲くと、もう寒い日はなくなり、春になり本格的な農業、コメ作り稲作が始められるサインと捉えられました。

例えばサがつく言葉を拾ってみましょう、皐月（サツキ）に早乙女（サオトメ）が早苗（サナエ）を植える。田植えのことです。このようにサが付く言葉が農業に関係しています。

○これからの展望です

修了式でお話ししたように60周年に合わせていくつかの変革をする予定です。これは本校が60周年を迎え「新たな伝統をつくる」ことの一環です。

● 3学期制に移行します

現在の学校の状況等を勘案して、学則を改正して、2学期制から3学期制に変更します。3学期制にすると、10月中旬の前期・後期の間の期間休業日はなくなります。1、2学期末に成績評定を行い、年度末で学習の修了、単位認定、進級、卒業等の認定を行います。このねらいは、授業日数の確保と、きめの細かい学習指導とその評価をすることです。

具体的には、4月に1学期始業式、中間考査、期末考査があり、7月末に1学期の終業式、8月末に2学期の始業式、1学期と同様に中間考査、期末考査があり、12月末に2学期の終業式、1月に3学期の始業式、学年末考査を行い、3月のこの時期に修了式になり、学期ごとに成績通知表を渡すこととなります。年間5回のテスト、考査の回数に変更はありません。

● 学校行事の見直しについて

1月にお話ししたように、本校として新しい取り組み、学校が一つにまとまり、学校への愛着や誇りを一層高めることと、各コースの特色化をより明確にしようと考えています。

① 校外での宿泊行事について

明日入学式を迎える、新入生全員の新入生HR合宿を実施します。これは新入生を対象にしますが、4月の下旬に中学校、高校の新入生全員で、2泊3日の合宿を行います。場所は富士緑の休暇村です。また、特進コース2年生のオーストラリア語学研修の内容を変更して、期間も縮小します。オーストラリアには行きますが、アデレードのホームステイからシドニーの大学での学寮での研修に変更します。

他にも各コースの目的にあった行事の変更等も考えています。

② 体育祭の実施

6月10日（月）に東京体育館で中・高合同の体育祭を行います。現在準備を進めているところです。全校が一体となって行事を作っていくたい、新しい伝統を作りたいと考えています。

また、一部の生徒から要望の出ている合唱祭についても今後実施する方向で検討していく予定です。

○ 新入生を迎えるに当たって

明日は、中学・高校の入学式です。中学校66人、高等学校618人の新入生を迎えることとなります。明後日には対面式があります。そして約2000人になる生徒たちの新しい学校生活が始まります。